

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果報告について

1 調査の概要

- (1) 目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における学習指導の改善・充実に役立てる
- (2) 実施日 令和7年4月17日(木)
- (3) 対象 小学校6学年児童・中学校3学年生徒
- (4) 実施教科 小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科

2 各教科の結果

表中の数字は平均正答率(%)を表している。(ただし中学校理科は「500」を基準とした得点)
<小学校> <中学校>

※(下段)は 全国との差	国語	算数	理科	国語	数学	理科
青森市	70 (+3.2)	60 (+2.0)	62 (+4.9)	55 (+0.7)	50 (+1.7)	525 (+2.2)
青森県	67	57	59	54	46	507
全国(公立)	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503

※中学校・理科においては、1人1台端末を活用したC B Tでの実施となっている
※思考力・判断力・表現力を問う問題についても小・中学校ともに県及び全国を上回っている
※文部科学省による公表では、各自治体の平均正答率は整数値で示されている

3 児童・生徒質問調査の結果

番号	本市の授業改善の 取組内容	質問事項	※(下段)は 全国との差	小学校	中学校
①	個別最適な学び	授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている	青森市 青森県 全国(公立)	90.1(+6.7) 86.4(+3.0) 83.4	82.6(+3.3) 81.0(+2.7) 79.3
②	主体的な学び	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	青森市 青森県 全国(公立)	86.3(+3.7) 82.6(0) 82.6	80.0(+2.3) 78.8(+1.1) 77.7
③	協働的な学び	話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする	青森市 青森県 全国(公立)	89.5(+4.6) 86.7(+1.8) 84.9	86.0(+1.3) 86.0(+1.3) 84.7
④	指導と評価の 一体化	分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる	青森市 青森県 全国(公立)	84.9(+5.5) 83.0(+3.6) 79.4	75.2(+1.8) 74.1(+0.7) 73.4
		先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれている	青森市 青森県 全国(公立)	94.8(+7.4) 91.4(+4.0) 87.4	88.9(+5.1) 86.3(+2.5) 83.8
⑤	探究的な学び	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている	青森市 青森県 全国(公立)	84.8(+7.0) 80.3(+2.5) 77.8	74.5(+3.9) 71.9(+1.3) 70.6

(数字は肯定的な回答をした割合…%)

- 全ての項目において、肯定的に回答する児童・生徒の割合が、小・中学校とも県及び全国以上となっており、各校において学習指導の改善、充実が図られていることが、思考力、判断力、表現力向上の要因と考えられる。
- 特に④「指導と評価の一体化」に関わる項目の「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」の質問事項において、全国を大きく上回る成果をあげている。

4 今後の取組

- (1) 教員の、上記①～⑤5項目をマネジメントするファシリテーション能力を高め、つながりのある授業
- (2) 特に③「協働的な学び」と④「指導と評価の一体化」との関連を高める授業づくり
- (3) A I型ドリル教材の効果的な活用等による「自立した学習者」の育成
- (4) 次年度の全国学力・学習状況調査については、本市の児童生徒の学習状況の把握、学習指導の改善、充実に資することから、継続して参加する意向